



2011年8月26日・27日に開催した

「第26回(通算68回)ジャパン建材フェア」 来場者23,000名超・総売上443.6億円を達成!

ご来場、お買上いただきました皆様、
ご支援・ご協力・ご賛同を賜りました皆様に
厚く御礼申し上げます。

2011年8月26日9:00より開場式を開催
初日8月26日は朝から太陽が照りつけ、
開場式開始の午前9:00には蒸し暑
さも加わりましたが、展示会場入り
口前には大勢の展覧メーカー様にお
集まりいただきました。開会に先立
ち、ジャパン建材新入社員による「木
遣り」を披露した後、オープニング
セレモニーを執り行いました。



「第26回ジャパン建材フェア」開催記念のテープカット。



永大産業 株式会社の皆様による「第26回ジャパ
ン建材フェア」目標達成に向けたVコール。



東日本大震災で被災された方々への義援金を募金
くださった方々に花小鉢1鉢をプレゼントしまし
た。皆様のご協力に心より感謝申し上げます。



ジャパン建材(株)
代表取締役社長
大久保清より
「3月17日・18日
に予定していた「第
25回ジャパン建材
フェア」を東日本
大震災で急遽中止
したため、出展メー
カー様に準備いただきながらお客様にご紹介
できなかった新商品・売れ筋商品と、震災後
に関心が高まっているエコ・環境配慮型商品
の需要を喚起して、復興の象徴でもある住宅
業界に活気を呼び戻し、明るくする展示即売
会としたい」と挨拶。



ニチハ株式会社
代表取締役社長
山中龍夫様から
出展メーカー様を代表し、
ご挨拶を頂戴しました。



株式会社ノーリツ
代表取締役社長
國井 総一郎 様

住友林業クレスト株式会社
取締役社長
安田 敏男 様

アイカ工業株式会社
代表取締役社長
小野 勇治 様

東京ジャパン建材会会長
株式会社ナバケン
代表取締役社長
名畑 豊文 様

ジャパン建材株式会社
代表取締役社長
大久保 清

ダイキン工業株式会社
執行役員 空調営業本部長
坪内 俊貴 様

ケイミュー株式会社
代表取締役社長
棚橋 正雄 様

JKホールディングス株式会社
代表取締役社長
吉田 隆

平成23度ジャパン建材標語
頑張ろっ! JAPAN
元気で 明るく 前向きに

お急ぎください!! 【フラット35】S 【当初10年間 年率▲1.0%】

【フラット35】S(優良住宅取得支援制度)金利引下げ幅拡大の
適用期間が2011年9月30日までの申込分に変更!!

【フラット35】S(優良住宅取得支援制度)の申し込みが当初の想定を大きく上回り、募
集金額に達する状況となってきたことから、平成23年12月30日までの申込分とされ
ていた金利引下げ幅拡大(当初10年間 年率▲1.0%)の適用期間が平成23年9月30
日までの申込分で終了される。金利引下げ幅拡大活用をご検討の皆様、お急ぎください!!

【フラット35】S(優良住宅支援制度)の金利引下げ幅

	平成23年9月30日までの 申込分に適用	平成23年10月1日から 平成24年3月31日までの 申込分に適用※
【フラット35】S 【フラット35】S (中古タイプ)	当初10年間 年率▲1.0%	当初10年間 年率▲0.3%
【フラット35】S (20年金利引下げタイプ)	当初10年間 年率▲1.0% 11年目以降20年目まで年率▲0.3%	当初20年間 年率▲0.3%

※平成23年10月1日から平成24年3月31日までの申込分に適用する【フラット35】S(優良住宅取得支援制度)
については、募集金額があり、募集金額に到達すると見込まれた段階で受付終了とされる予定。
【フラット35】S(優良住宅取得支援制度)のご活用についてのご相談は、JKサポートセンターへ
*連載中の「必携!『長期優良住宅マニュアル』100%活用法④」は2011年10月号に掲載します。

台湾(台中)に新たな海外拠点が生誕！

JKホールディングスが51%出資する台湾の現地法人

「新日緑建材股份有限公司 (JPGハウス)」設立。

代表は当社よりの出向社員である、飯田総経理(社長)。

台湾は、中国本土の経済成長の影響を受け経済成長を続けており、将来的に非常に期待できる地域です。また、世界でも有数の強い親日感情があり、日本人・日本製品に対する信頼感も非常に高い国のひとつです。JKホールディングスはすでに、米国(シアトル)、中国(上海、大連、天津、香港)、マレーシア(ミリ)、ロシア(ウラジオストク)など世界4カ国7地域で海外事業を展開しており、台湾を東アジア地域の主要拠点のひとつに位置付けています。

「新日緑建材股份有限公司 (JPGハウス)」は、日本製の建材を台湾で販売。これを機に「ジャパン建材」ブランドの浸透にも弾みがつくことをおおいに期待しています。



新日緑建材股份有限公司
総経理 飯田 聡

去年の10月に初めて台湾に来て、やっと現地法人を立ち上げられました。

台湾の人は、大変やさしく親日的です。3月の大震災でも人口2300万人の日本からは国として認められていない小さな国が約200億円という莫大な金額、世界中で一番多く募金していただきました。私もお得意先6社に募金箱を置かせてもらいましたが、日本円に換算して約65万円の募金をしていただきました。

みなさんも機会があれば是非台湾を訪問していただいで感謝の気持ちをお伝え願え



本社外観



たらと思っています。

今後は、まだまだ台湾では普及していない日本の機能性のある住宅資材を販売していき台湾での住宅性能のアップに貢献できるように社員と一丸となって邁進していく所存です。日本からの応援もよろしくお願ひします。

東日本大震災からの復旧・復興に向けて大きく前進！

「がんばっぺ いわき」を合言葉に

レポート：いわき営業所



2002年2月に開設した構造用LVL『キラーラム』による木造亜鉛メッキ銅板葺平屋建(45坪)のいわき営業所事務所は無傷でした。住宅も、事務所も、地震・災害に強い地盤・建物が安全・安心の第一歩になることを痛感しました。

三陸沖中部から宮城県沖、三陸沖、福島県沖、茨城県沖、房総沖を震源とする地震が連動した2011年3月11日の東北地方太平洋沖地震。ジャパン建材いわき営業所のある福島県いわき市では震度6弱が観測されました。市内泉町滝尻にある当営業所でも立ってられない強い揺れを感じ、慌てて屋外に避難しましたが、揺れが収まるまでしゃがみこんで待つしかない状態でした。そこへ近くのお客様が「津波警報」を知らせに来てくださって、助け合って避難することができました。お客様との絆の大切さを改めて実感しました。ありがとうございました。

福島県下では太平洋沿岸部の福島県浜通りを中心に、地震後の大津波で国道6号線(陸前浜街道)、JR常磐線などの基幹交通が分断、堤防や港湾施設の壊滅的被害を受け、県全体で死者1,823人・行方不明者142人(いわき市310人・39人)が報告されています。

いわき市の南部沿岸部市街地にも一部津波が到達して住宅が倒壊。鮫川河口に近い常盤共同火力発電所や、福島県最大の港である小名浜港を臨む小名浜油槽所、いわきサン

マリーナ、アクアマリンふくしまも津波で被災。当営業所のある泉町でも道路に亀裂が走ったり、駐車場の陥没、住宅の塀が壊れたり、瓦が落ちるなどの被害がありました。さらに、いわき市北部が、東京電力福島第一原子力発電所の半径30km圏内に含まれるという厳しい現実にも直面しています。

当営業所の営業エリアには、壊滅的な津波被害を受けた地区や、原発事故で避難勧告・避難指示が出された地区もあります。浪江町から名古屋・群馬など県外で避難生活を余儀なくされた方々。30km圏外北西部に位置する南相馬市でご商売を再開されたお客様。皆様ご苦労されながらも頑張っていると思います。

いわき市のほとんどは30km圏外にありますが、今後の風向きによっては避難指示地域になる可能性がゼロとは言いません。また震度6弱程度の余震も断続的に起きています。先行きの不安はありますが、地元では「がんばっぺいわき」を合言葉に「元気に明るく安心して暮らせる故郷の再生」に向けて全力で取り組んでいます。

トップ対談

代表取締役社長

中本 祐昌 様

なかもと ゆうしろう

【プロフィール】

1960（昭和35）年、広島県生まれ。1984年、東京農工大卒、(株)住建産業（現(株)ウッドワン）入社。技術センター部長、経営統括本部長、商品企画部長兼技術開発部長、代表取締役・専務取締役経営統括本部長を歴任し、2001（平成13）年、代表取締役社長に就任、現在に至る。



株式会社 ウッドワン

【会社概要】

本 社 広島県廿日市市木材港南1-1
会社設立 1952年
資本金 73億2,497万円（2011年3月末現在）
従業員数 3,535名（グループ連結 " "）
年 商 643億円（ " "）

1935（昭和10）年創業、現社長の祖父・中本勇氏が広島県廿日市市（旧佐伯郡吉和村）で木材業を開始。1949年、同地でスギの種苗を植え始める。1952年に勇氏が発起人となり有限会社中本林業を設立、現社長の父・中本利夫氏が代表取締役社長に

就任。1957年、床板（フローリング・ボード）工場を新設、ブナ材によるフローリング生産を開始する。1967年に合板工場新設、国内初の4m超大型合板プラントによる長尺合板縁甲板『フロング』の製造販売を開始。1969年、(株)住建産業に商号変更。1974年にはグループ5社を合併し、新組織の(株)住建産業を再発足。1987年、東京・大阪両証券取引所第一部上場。2002年、(株)ウッドワンに商号変更。ニュージーランドでの森林経営と、ニュージーランド、フィリピン、中国（上海）、日本の工場をつなぐ独特の製品づくりを実現している。

最終的な商品の形を見据え、それに最適な木を自ら育て、加工・販売を行う一貫スタイルを強みに、快適な住空間の創造のために邁進しています。

大久保 日本全国約2万社の私どものお客様に向けて情報を発信している『ブルズ ビジネス』のトップ対談にご登場いただき、ありがとうございます。

私ども流通を担う仕事は、お客様にご愛顧いただくだけでなく、メーカーの皆様から商品を供給いただいて成り立っています。このトップ対談では、全国の販売店経営者の皆様にお話を伺って紹介するとともに、四半期ごとにメーカートップの皆様にも直接お話を伺い、旬の情報をお伝えして読者の皆様に関心をもって読んでいただいております。

本日は宜しくお願ひ申し上げます。

フローリングでシェア拡大

大久保 ウッドワンさんとは住建産業さんの頃からお付き合いさせていただいて、当初は、長手方向の両側面を本実加工した長尺合板縁甲板（えんこういた）を扱わせていただきました。今でもこの分野のトップシェアを占めていますね。

中本 はい。当社で最初に手掛けた製品は、中国山地のブナ材フローリングです。外材時代に入ってから南洋材アピトンのフローリング『フロング』の製造を始め、日本でシェア4割を取りました。

大久保 アピトンはトラックの荷台にも使われる硬くて丈夫な木ですが、扱いが難しいですね。それをフローリングにされた、素晴らしい技術力ですね。

中本 確かに扱いづらいですが、腐りにくい木で電車や縫製工場の床などにも使われました。今は、インドなど堅木を好む地域で高級材になっています。

その後、昭和42年に国内初の4m超大型合板プラントを造り、長尺合板と『フロング』を組み合わせた長尺縁甲板の製造販売を始めました。

大久保 集成材の階段、内装ドアシリーズ『ジュピーノ』なども出されましたね。

中本 ニュージーランドで森林経営権を取得したのが平成2年、今年で21年に

なりました。当社独自の「ニュージーパイン®」を使った『ジュピーノ』を発売したのは、その2年後です。

数十年先を見据えて動く

大久保 ニュージーランドで森林経営権を取得されたときは業界にセンセーションを巻き起こしましたね。

中本 気でも狂ったのではないかと、会社は大丈夫か、とも言われました。20年という長い年月ではありますが、私たちが植えた木はまだ伐っていません。伐れるときに私は80歳になりますので、実際にこの目で確かめられるかも不確かなことですが、林業という仕事は、伐期となる30年後、数十年先を考えて動く独特の世界です。

大久保 「ニュージーパイン®」の伐期は30年ですね。

中本 はい。当社はもともと林業出身の会社です。創業した祖父は山を一目見れば、そこから取れる材木の量がわかる目利きでした。林業をしながら山を売買して会社を大きくし、所有する山林を増やしていきました。その植林を担当し、本格的な林業に取り組んだのが父です。

大久保 初代の勇氏は林業家、二代目の故利夫会長が住建産業の設立者ですか。

中本 祖父は早い時期に事業を父に任せて見守っていたそうです。祖父の代から林業と経営を両立することに取り組み、父も「目の前の今年の仕事と50年先のこと、この両方を考えていかなければいけない」と、生前よく言っていました。

要するに植林してから伐採するまでの数十年間は山に投資するだけで、収入が見込めません。それで、副業として始めたのが住建産業で、ウッドワンとなった今も、そのノウハウを受け継いでいます。

世界に貢献しながら資源を獲得

大久保 ニュージーランドで管理されている山林はどのくらいの広さですか。

中本 ニュージーランド北島のカイトイヤ地区・ギズボン地区・マスタートン地区の合計約6万haは森林経営権を取得し、ニュージーランド政府からリースを

受けているものです。そこで伐採した木で製品を作り、新たに木を植えて育てていく限り、半永久的にリースを受ける権利が保証される契約になっています。これにギズボン地区で新規に購入した土地8,000haを合わせて68,000ha。琵琶湖とほぼ同じ、東京23区の面積より少し広いです。

大久保 ほう、それは凄い。

中本 同時に、木を育てている山も、流通も、国内外の木質建材関連工場でも、全て「FSC森林認証」を取得しました。ですから、当社製品は、どこで伐採された木が使われたかが全て明確にわかるトレーサビリティを有しています。

大久保 合板の針葉樹化や、国産材活用、違法伐採対策が基本になり、昨年、私どもも加工・流通段階の「FSC-CoC認証」を取得しましたが、ウッドワンさんは業界の先陣を切って取得されましたね。

中本 当時は、環境について今ほど言われていませんでしたが、ちょうど熱帯雨林問題がTVでも取り上げられ始めていました。たまたま重役が東南アジアへ出張するということに、子供さんから「お父さん、悪いことをしに行くのか」と尋ねられたので、「悪いことじゃない、木を買いにいくなだよ」と説明したら、「ほら、やっぱり悪いことをしに行くんだ」と言われたそうです。

大久保 それがきっかけだったのですか。

中本 子供さんからそういう言葉が出てくるようになったからには、将来もこのまま続けていくのは難しくなるだろうと。ちょうどニュージーランド政府の国有林の話があり、たまたま平成元年に関連会社の中本造林(株)が「農林水産祭産産部門天皇杯」をいただきました。日本はバブル経済崩壊直後でしたが、受賞理由が日本の林業系企業で唯一黒字だったことで、融資も受けやすくなりました。そうしたいいくつかの背景が巧く重なり合って実現できました。

私たちが実践しているのは「法正林林業」です。これは、銀行預金の利子だけを使うのと同じ原理で、金利にあたるのが木の生長量です。現在の年間生長量は約120万m³ですが、木を植えていけば、使える木の量も増えていきます。

大久保 地球環境にも良いことですね。

中本 同時に、化石燃料などが使われて地中に埋もれていた二酸化炭素が大気中に放散されていますが、木の生長力＝二酸化炭素吸収量につながる植林が一番早い解決法になると思います。

もう一つは、製品になったものを使い続けていけば、そこに二酸化炭素が固定されることも大事なことです。中でも製

材品や無垢製品は、製造過程でのエネルギー消費量が少ない点も大きな特色です。

製品に最適な木による競争力

大久保 「ニュージーパイン®」の成木は、直径どのくらいですか。

中本 直径60cm、樹高30m～40mあります。日本の木のイメージからは80年生と間違えるほど生長の速い木です。私たちは樹高8mまで枝打ちするので幅10cm～15cmのドア框用が無節で8m取れます。人間で言えば、養子・養女になった山に私たちが教育を施したものがこれから出てきます。種から育てた木は10年先に出てきますが、それは、マグロに例えると、全身がトロの状態です。

大久保 生産効率が非常に良いですね。

中本 メーカーには、新しい商品を創り出すノウハウと、商品を作り込むノウハウが必要だと思います。私たちの遺伝子の中には、外注して安くなるようなものは作らない、自分たちのコストを一番に下げて競争力をつける、という鉄則があります。そのベースになるのが、厚さ6mmの柾目で狂いが出ない幅広材が大量に取れる林業の実践です。

その一環として、木建ルートから内窓リフォーム提案のできる『無垢の木の内窓MOKUサッシ』と、ニュージーランドパインは柔らかいというイメージを払拭した浮造りでリフォームに最適な6mm厚、滑りにくく素足に心地よい質感が特長の『無垢フローリングピノアース』を発売しました。

大久保 無垢の長所を伸ばして、短所を克服した商品ということですか。

中本 住宅版エコポイントは7月で終了しましたが、国の政策は、新築よりもリフォームに力を入れてくるだろうと思います。長期優良住宅のモデル事業の改修部門もこれからです。リフォームの中でも特に内窓は、施主様に気軽に取っていただけるものです。ここに木建ルートからご提案できるツールが投入でき、手ごたえを感じています。

さらに新築部門には、木目の表情が美しく映える浮造り無垢の扉を使った『スージー NZ class 限定プラン』（間口2,550限定、色はナチュラル色限定）を新たに発売しました。これを入りに、無垢の板物で強みを発揮するウッドワン製品に親しんでいただければと思います。

大久保 商品の長所をしっかりと把握して一所懸命売らせていきたいと思っています。

本日は興味深いお話をお聞かせいただき、ありがとうございました。



第 26 回ジャパン建材フェアに見る 住宅建材トレンド - その 1 -

●被災地の合板工場から 構造用針葉樹合板の出荷再開！

今年 3 月 11 日の地震・津波被害で大きなダメージを受けた東北の合板工場が相次いで生産再開を果たした。東日本大震災発生直後には、復旧に 1 年かかるともいわれたが、ほぼ半年後の 9 月、本格的な出荷再開が実現した。

■石巻合板

震災によって生産設備が海水に浸かっただけでなく、津波と一緒に流れ込んできたヘドロ・ゴミなどで相当なダメージを受けていた機械の部品交換と徹底的なオーバーホールを行い、当初の予想よりも復旧までに時間はかかったが、震災前の設備から最新の制御システムによる設備にグレードアップし、精度・品質・歩留まりを高めた。

盆休み明けに生産設備の一部で試運転に入り、日中だけの試運転を実施。8 月末には㈱日本合板検査会による JAS 工場の認定を新たに得て、9 月前半から一部の設備で 24 時間運転を再開。今回復旧を予定している残りの設備についても点検・試運転を行い、9 月中には稼働して震災前水準の 11 月実現を目指す。

なお、合板製造に欠かせない熱源と電力を賄う“工場の心臓部”＝木質バイオマスプラントをまず普及させ、自社で使う電気は作れる状態になっている。将来的には、この設備を向こう 20 年間かかるといわれる被災地の瓦礫処理にも貢献できるものに改善して、地域のニーズに応えていきたい、としている。

■セイホクグループ

セイホクでは、比較的被害の軽微であった工場の設備を組み合わせて生産を再開。第 3 工場で丸太を単板にしてドライヤーを行う前工程を、後工程は第 1 工場へ運んで単板のりづけ、ホットプレスによる熱圧を施して住宅向け構造用針葉樹合板の完成品としている。

7 月 26 日に㈱日本合板検査会の JAS 認定が新たに下りて出荷できることになり、生産を再開。8 月は 12 ミリ厚 3 × 6 換算で 30 万～40 万枚生産を目指す。

なお、熱源である木質バイオマスボイラーは復旧したが、第 1 工場にある木質バイオマス発電設備は、現在修理中。9 月には第 3 工場を 1 ラインで動かす予定で整備を進行中。西北プライウッドも稼働できるので生産量は上がる見込み。住宅向けの構造用針葉樹合板から取り組んでいる。



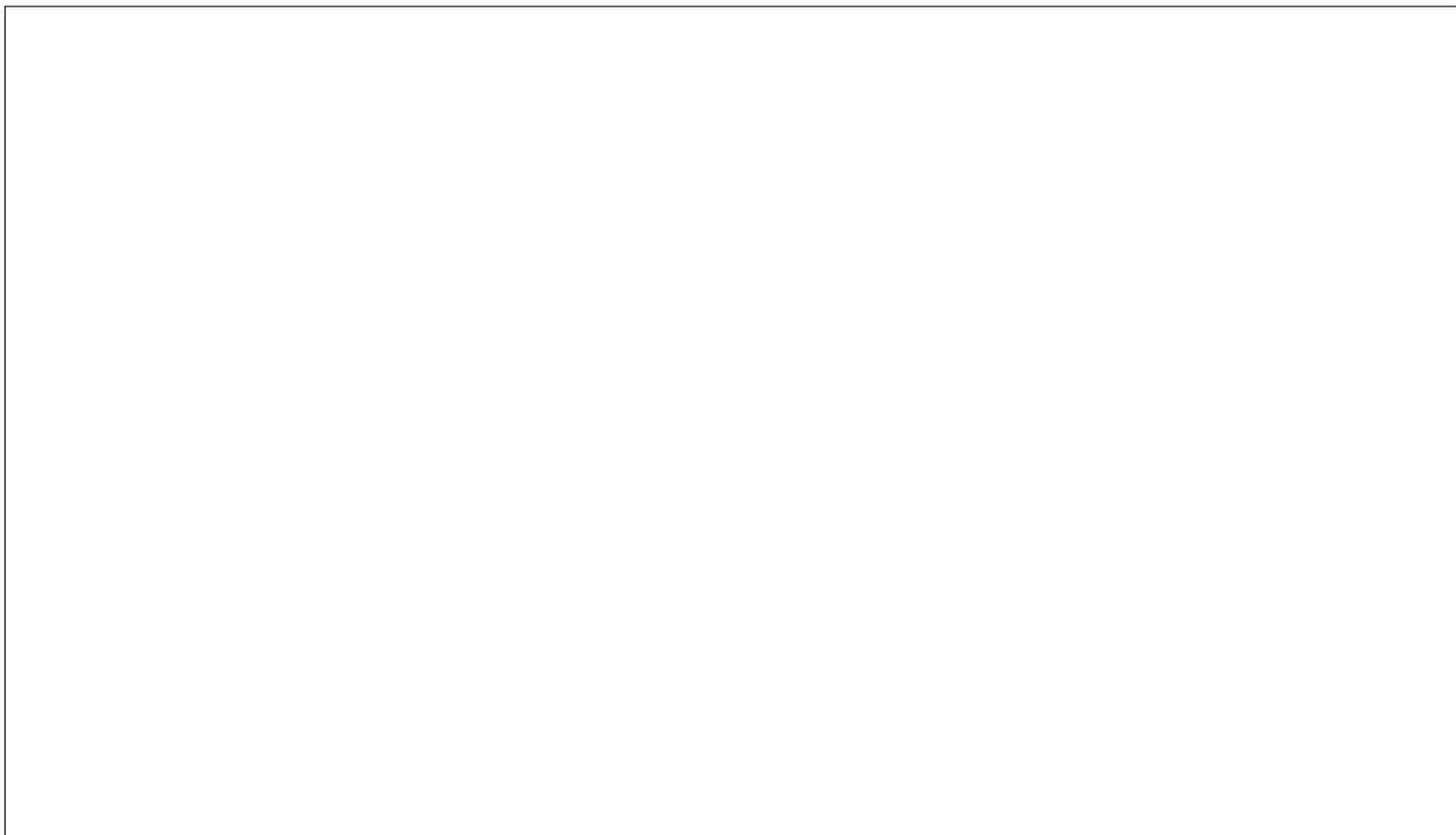
震災直後からセイホクグループの秋田、島根、九州の工場では 130%稼働で生産量確保に動いたが、被災地外でも増える需要、海外からの供給にも時間がかかり、合板の不足感が高まってしまったが、24 ミリ『ネダノン』は安定供給できる状況になっている。

性能・価格・加工性などで使い勝手の良さを発揮する合板は住宅に一番の素材である。正確な情報に基づく合板活用を!!

●一気に上昇した省エネ&エコ意識

住まいのエネルギー源の多様化、太陽光発電やガスから電気を作ることへの関心が、東日本大震災を契機に一気に高まった。20 世紀末から住宅・建材業界が率先して提案しつづけてきた“地球にやさしい、人にやさしい”21 世紀型エコライフが実現する時代がやって来た。

今回のフェアには、住まいの「電気が目見える化」に欠かせない HEMS（ホームエネルギーマネジメントシステム）が初登場。さらに IT を使って携帯やパソコンから住まいの電気消費量や太陽光発電の発電量などを一元管理するための仕組みも登場した。これは、居間にいながら全室が管理できる、外出先から自宅の電気設備がオン・オフできるなどの機能をもつ便利な仕組み。新築だけでなく、既存住宅でも、分電盤と情報をやり取りするためのアダプターをプラスして、家電品を HEMS 対応機種に換えれば対応できる。家電品に HEMS 対応が標準装備される日も近い、という。太陽光発電システムの選択肢が一気に増えたことも、今回のフェアの大きな特色。ジャパン建材の「オール電化パック」





にもご注目を！

●地震に強い & 外気温度に左右されない家づくり

住まいのエコを考えるうえで基本中の基本となるのが、長く住み続けられ、二酸化炭素を長い間固定化できる耐震性・耐久性の高い木造住宅。加えて、暑い日、寒い日も住宅内の冷暖房効率を高めるには、断熱性能の高さが要求される。それを容易に確実なものにする「外張り断熱」のためのアイテムも新登場。詳しくは、JKサポートセンターおススメの「外張り断熱の家づくり」をご確認ください（本誌2011年10月号にも掲載予定）。

通算 69 回目となる次回
「第 27 回ジャパン建材フェア」は
2012 年 3 月 16 日(金)・17 日(土)に
開催を予定しています！



ジャパン建材(株)木構造建築事業室が受注！

国内初の鉄骨と耐火木造のハイブリット構造 “都市が森になる”環境建築の最先端モデル 「東部地域振興ふれあい拠点施設」

埼玉県と春日部市が春日部駅西口地区に建設している「東部地域振興ふれあい拠点施設」は、1階～4階が鉄骨造、5階と6階の2層を木造とするハイブリット構造。国内初の鉄骨と木造耐火構造の混構造建物が実現する。

設計コンセプトは、「都市の森」の創造。建築物全体で約800㎡の国産材を使用することで建物自体がCO₂を固定化する＝都市の森となる。骨格デザインは自然エネルギー活用を前提とし、耐火木構造の採用で構造材料の地産地消による林業再生、環境技術の「見える化」などの具体例を示す「環境啓発施設」になる。

ジャパン建材木構造建築事業室は、木造耐火構造部分の耐震パネル工事を担当。鋼製枠（他社にて施工）と厚さ80mmのカラマツLVB（単板積層ボード、201㎡）2枚を組み合わせた耐震パネルは、JK木構造グループのキーテックが開発から携わった。同じくJK木構造グループの秋田グルーラムなどから供給する構造用集成材（506㎡）、構造用LVL（102㎡）、構造用合板（2,832枚）が使用され、今秋の竣工を目指している。



【建物概要】

所在地：埼玉県春日部市南1-1
用途：複合施設（事務所・集会所）
建物規模：地上6階
延床面積：10,534㎡
高さ：27.1m
構造：1階～4階 鉄骨造
5階～6階 木造（1時間耐火構造）
施主：埼玉県、春日部市
設計監理：株式会社山下設計
施工：株式会社銭高組

木質構造建築に関するお問合せ先

ISO14001 認証
FSCSGS・COC-007320 認証
ジャパン建材 木構造建築事業室
TEL：03-5534-3719
FAX：03-3521-1780
E-mail：ew@jkenzai.com
URL：<http://www.jk-teg.com>



天然木材でポカポカ生活

『床暖房対応 無垢フローリング』

株式会社ウッズ・マイスター

床暖房の高温度による特殊な環境下でも、反りや収縮を最小限に抑えるよう天然乾燥と人工乾燥による含水率の調整と、特別な加工や塗装などにより、無垢フローリングの床暖対応商品を実現。温水式・電気式の両方に対応可能で、本物の自然素材を使った健康で快適な生活をご提案する。



【豊富なバリエーション】

ナラ・カバ・チーク・カリン・パインなどを中心に 20 樹種で 35 種類の中から選べるので、イメージに合った空間を演出できる。

【無塗装タイプもラインナップ】

床暖対応の無塗装品を 4 樹種とり揃え、お好みの自然塗装などで仕上げられる。

【国産材にも対応】

JAS 認定工場により国産材でも製作できる（サイズは幅 75 ミリ 長さは乱尺）。

【価格も満足】

「無垢は使いたいが、床暖対応は価格が高すぎ



て使いきれない」という声にこたえて、お求めやすい価格のシリーズをご用意。ぜひお問い合わせください！

省エネ性と快適性を両立させる超省エネエアコン

パッケージエアコン『エコジラス 80』

ダイキン工業株式会社

住まいの省エネと快適性は技術力から生まれる。ダイキン工業の『エコジラス 80』は、業界トップクラスの APF 達成、同時に不快な風当たりを解消し、空調のムダまで軽減した快適性が追及された“超省エネエアコン”だ。

【業界トップクラスの省エネ性】

省エネ性をさらに向上。業界トップクラスの APF を達成。

- 機器省エネ+実用省エネで、CO₂ 排出量を最大 80%削減※

※ 15 年前の当社一定速機（3 馬力）との比較。
JRA4048：2006 に基づいて算出し、さらに当社独自の
実用省エネ制御および既設機の 15 年使用の経年劣化による消費電力増加を見込んで試算

- 全馬力 2015 年省エネ基準クリア（センシ

グフロータイプ）

- 全馬力 2011 年グリーン購入法調達基準適合（センシングフロータイプ）
- 運転状態の最適コントロールを行なう“実用省エネ”を搭載

「Eco 全自動モード」「OSCAR（オスカー）制御」「フィルター自動清掃」

【不快さ・ムダまで軽減した快適性】

快適性を追求。不快な風当たりを解消！空調のムダまで軽減。

- 天井埋め込みカセット形センシングフロー（室内機）は人検知と床温度検知のダブルセンサーと 4 方向の風向独立制御で気流をベストコントロール



- Eco 全自動モードによる「人感知モード」「床温度センサー」「風向独立フラップ」の 3 つの働きで気流も風向きも自在にコントロール
- 人のいる場所を検知して、風向きを自動コントロールし、不快な風あたりを軽減
- 床温度を検知して、夏は足元を冷やしすぎず、冬は足元から暖め、室内上下の温度差を解消。これが『エコジラス 80』ならではの快適性の決め手。

イチ押し **Bulls** FAKRO 社 (ポーランド) とジャパン建材(株)の共同開発!

天井収納はしご **LWK コンフォート**

■構造



断熱天井フタ
36mm断熱材をHDF/パネルで挟んだ断熱仕様の天井フタ

無垢材はしご
パインの無垢材を採用したことで木目の美しさが際立ちます。

シルバー金具
シルバー金具を採用したことでシャープな印象に!

※注意 仕上げ材はクロスのみとなります。

ここがポイント!
FAKRO



施工にやさしい、点検もしやすい、気配り設計! 小型浄化槽 (担体流動循環方式) **KJ 型** [5・7・10人槽]

ここがポイント!



全高1,550mm
浅型設計!!
5人、7人、10人槽共に全高1,550mm

流入管底深く、放流管底浅く
施工メリット拡大!!

環境にやさしい
高度処理機能付加!!



放流水質
BOD
20 mg/L 以下

放流水質
T-N
20 mg/L 以下

放流水質
SS
15 mg/L 以下

河川等の水質浄化・環境保全に繋がる、し尿処理と生活雑排水をまとめて浄化する合併処理浄化槽設置に対する補助金を交付する自治体もあります。ただし、補助の対象は、各自治体の下水道事業計画

が異なるため、「汲み取りトイレ・単独処理浄化槽から合併浄化槽に切り換える」「居住を目的とした新築住宅に限る」「下水道事業計画区域・農業集落排水事業採択区域・開発行為による集合排水処理区

域を除く地域」等々の条件が細かく定められています。合併浄化槽採用の際は、地元の補助対象を確認してメリットを生かしてください。

戸建住宅の給水・給湯管と排水部材を配管図面とパックで納品! 配管キット 給排水ヘッダーシステム

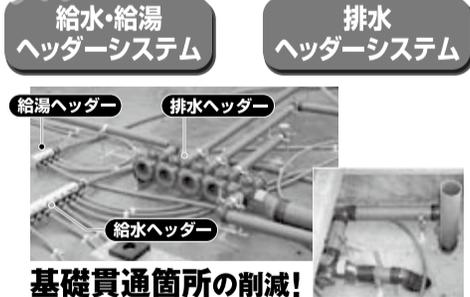
ここがポイント!

メーカー出荷の安心品質の製品パック

給排水設備を標準化
給排水設備配管図を作成



システム配管



基礎貫通



- ★ 長期優良住宅の基準に対応!
- ★ 改正 省エネ法の「小口径配管」に対応!
- ★ 【フラット35】S^(住宅金融支援機構の住宅ローン) 技術基準に適合!

合板業界トピックス ジャパン建材合板部

偽造「JAS 認定証明書」「JAS 刻印」に御用心!! 農林水産省・(財)日本合板検査会などが呼びかけ

今年5月のゴールデンウィーク明け、農林水産省消費・安全局に対して一般からJAS工場認定の証明書について確認依頼があり、同局から(財)日本合板検査会に照会があった。検査会でその内容を確認した結果、「証明書発行年月日、工場名称、工場所在地、認定年月日」を改ざ

んしたものであることが疑われた。具体的には、海外の合板メーカー名が国内のJAS認定合板メーカー名の上に張り付けられた可能性があるという。さらに7月、偽造されたJASマークが刻印された輸入合板の存在が国内で確認された。

日本合板検査会では、実際にJAS製品を購入する際は、適正なJAS表示がされていることを必ず確認することや、同検査会のホームページ [http://www.jpic-ew.net/] に設けている「認定事業者の認定等に係る公表」メニューに認定JAS工場を掲載しているため、証明書やJAS刻印等に偽装が疑われる場合は同検査会に問い合わせをほしい、としている。

なお、認定事業者の証明書は、日本合板検査会が認定事業者の請求に応じて発行するもので、同検査会のサービスのものと位置付けられている。証明書そのものがJAS法に基づくものではないことも認識しておきたい。



めざせ
地域活性化隊

ジャパン建材株式会社
東日本グループ
関東営業部
中央営業所



所長 久保沢 宏

今が旬の太陽光発電の拡販で地域No.1を目指します！

さいたま市は埼玉県の南に位置し、東京に近く交通の便も良く、大変住みやすい街です。特にこれと言った特徴はありませんが地元の人曰く災害の無いのが一番というのが的を得ていると思います。

中央営業所の近くには荒川の河川敷を利用した公園が2箇所あり、市民の憩いの場になっています。一つは桜草公園で、春にはピンクの桜草が一面に咲き誇り、東京からも大勢の人が見えます。桜草の時期に是非お越しください。

もう一つは秋ヶ瀬公園です。広葉樹

が鬱蒼と茂り、バードウォッチングする人も多く、サイクリングも楽しめるので休みの日には楽しいひと時を過ごす家族連れで賑わいます。桜草公園とは隣接していますので皆様、こちらへも是非お出掛けください。



中央営業所は私を含め総勢19名の大所帯でやっております。営業は7名で、ベテラン1名と勢いのある若手6名が日々忙しく飛び回っております。

中央営業所の倉庫は大きく、在庫量、種類も多く特に配送は日に2便のエリアもあり、お得意先様には大好評を得ており、今後も充実を図って参りたいと思います。

また、福島原発事故をきっかけ

に太陽光が脚光を浴びてきていますが、中央営業所に於いても“今が旬”を合い言葉に販売店様と工務店様を訪問し、施主様までPRをして拡販に東奔西走しています。今後も販売店様とタッグを組み太陽光の拡販に努めて参ります。

皆様の益々お役に立つ営業所を目指し邁進していく所存でありますので変わらぬご支援を宜しくお願い致します。



ジャパン建材 合板部
部長 内藤 裕之

■新設住宅着工

6月の新設住宅着工戸数が72,687戸（前年同月比105.8%）と発表され、前年同月比では、3カ月連続の増加となった。好調なのは分譲で、マンションは5割近くの増加、戸建分譲は5.6%増と堅調推移が続いている。木造住宅に関しては40,249戸（前年同月比98.8%）で微減だが、木造比率は55.4%となり、前月から1.8ポイント上昇した。

特に好調なのは首都圏のマンションで6月の着工は92.4%増で、昨年の9月以降大幅な増加が続いている。なお、被災3県の着工戸数は15%減となり4月、5月からは回復傾向である。特に宮城県の着工戸数は1,018戸で35.2%の大幅増。持ち家は減ったが、貸家は仙台市内に大型物件が建設されたことが要因。

■国内合板生産・需給

6月の国内合板生産量は5月同様、宮城、岩手県を含まない数字となるが、19.9万 m^3 （対前年比82.6%）と発表された。そのうち、針葉樹合板の生産量が17.3万 m^3 （同83.0%）、出荷量は17.0万 m^3 （同88.1%）となった。在庫量は8.2万 m^3 で前月比3.9%増だが、依然低水準の状態となっている。

国内針葉樹合板の荷動きは地域格差が際立っている。関東圏は、入荷

すると荷動きはまずまず。東北地方も需給は引き締まり、ここきて修繕関連で手応えがでてきている。ただし中部から西へ向かうほどに動きは低迷しており、単価も下押し傾向で全国を見渡せば価格差が目につく様になっている。

被災工場では操業再開に向け作業を進めており、生産を始めた工場もある。合板メーカーは先月同様可能な限り生産量を引き上げており、フル操業を展開しているが、在庫量は非常に少なく今後においてもアイテムによってはタイトな状況が続くと思われる。

■輸入合板需給

輸入合板は需要家が震災直後の仮需的に手当てを進めたものの、実需が乏しく川上での手持ち在庫がまとまったことと、ここ数カ月の入荷増を背景に荷動き不振が目立ち、特に12mmの構造用で流通の一部には売り急ぐ動きもみられる。

しかし現地シッパーは現状消化している原木が高値であるため、製品価格の維持を求める意向であり、川中、川下では実需に見合った当用買入の姿勢が強まる冷静な対応にあるなど、流通の各段階で様子が違っており中期的な需要動向はなかなかつかみづらい展開である。

JK お客様
センター

お聞かせ下さい。お客様の声！
フリーダイヤル 0120 (563) 568 受付時間：平日 8:30～17:20
土曜日・日曜日・祝日・年末年始・夏季休暇は、受付を休ませていただきます。

企画
発行

ジャパン建材株式会社 JK 情報センター

〒136-8405 東京都江東区新木場 1-7-22
TEL:03-5534-3711 (代) FAX:03-5534-3855 (代)
URL:http://www.jkenzai.co.jp